

REFINITIV リフィニティブ



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

トムソン・ロイターのファイナンシャル・リスク部門の
名称はRefinitiv(リフィニティブ)に変わりました

知りたい

なるほど
リッパー

今度は本物? ESG投資ブーム①

企業の取り組み姿勢を数値評価

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で、「ESG」への関心が再燃しました。「Environment (環境)」「Social (社会)」「Governance (企業統治)」の頭文字からなるESG。以前は環境への関心が高くエコファンド

が中心でしたが、コロナ禍では社会的な課題を投資資金で解決しようという動きです。

一般的な投資判断では企業の業績や財務情報が重要とされます。持続可能な社会をめざしている最近は、それだけでは不十分と考え、ESGへ

■ESG投信を探点するリッパー・ファンドESGスコア

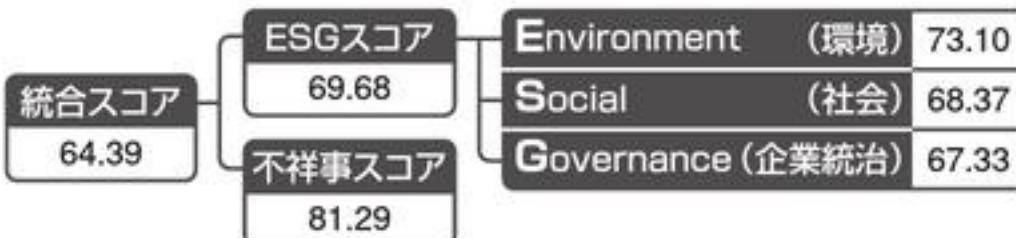
ファンド名	リッパー一分類	統合スコア	設定年
グローバルSDGs株式ファンド(三井住友DS)	グローバル株	65.66	2019年
One ETF ESG(アセットマネジメントOne)	日本株	64.39	2017年
ダイワ上場投信-MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	日本株	58.83	2017年
りそなジャパンCSRファンド(パインブリッジ)	日本株	58.58	2005年
SMBC・アムンディ クライメート・アクション	グローバル株	58.27	2019年
(※)野村ACI先進医療インパクト投資	ヘルスケア株	57.57	2018年
オリックス 先進国株式マーケット・プラス・ファンド(新生)	グローバル株	54.63	2018年
オリックス 世界社債アクティブランド(為替ヘッジあり)(新生)	グローバル社債日本円	53.22	2018年

2020年10月末時点。(※)の投信には、Aコース(為替ヘッジあり 資産成長型)、Bコース(為替ヘッジなし 資産成長型)、Cコース(為替ヘッジあり 予想分配金提示型)、Dコース(為替ヘッジなし 予想分配金提示型)の4タイプがあり、いずれも同じスコア

リッパー・ファンドESGスコアの成り立ち

「One ETF ESG」(銘柄コード1498)の場合

※2020年10月末時点



環境(E)、社会(S)、企業統治(G)の三つの柱で企業や銘柄を評価している。10の主要テーマ(排出量、環境製品の革新性、多様性と受容性、人権、株主など)について、相対的な実績、関与、効果を計ってESGスコアを決定し、不祥事スコアとともに加重平均化して総合スコアを算出する

の取り組みも評価の対象にする傾向。投資信託でも、ESGに積極的な企業の株式や債券に投資する「ESG関連投信」が注目されています。

ただ、「環境に優しい」「社会貢献」「企業の管理・監督がしっかりしている」などの基準はあいまいです。そこで昨年、金融データ会社のリフィニティブは「リフィニティブ・リッパー・ファンドESGスコア」の情報提供を開始。投信が組み入れている株式や債券の企業情報などからESGを数字で評価しています。ESGに貢献する「ESGスコア」と悪影響の「不祥事スコア」によって「統合スコア」が成り立っています=図。

国内で販売されている公募株式投信の中で、商品説明に「ESG」が使われている投信は、2020年10月末時点で48銘柄あります。うち、一定の基準を満たし、リフィニティブ・リッパー・ファンドESGスコアで評価されている投信は11銘柄=表。2017年~19年に設定された投信が多いのは、17年に公的年金の積立金がESGの指標に連動する運用を取り入れた影響です。数年ごとにブームの波があるESG投資、今度こそ持続可能な投資テーマとなるでしょうか。